

罪

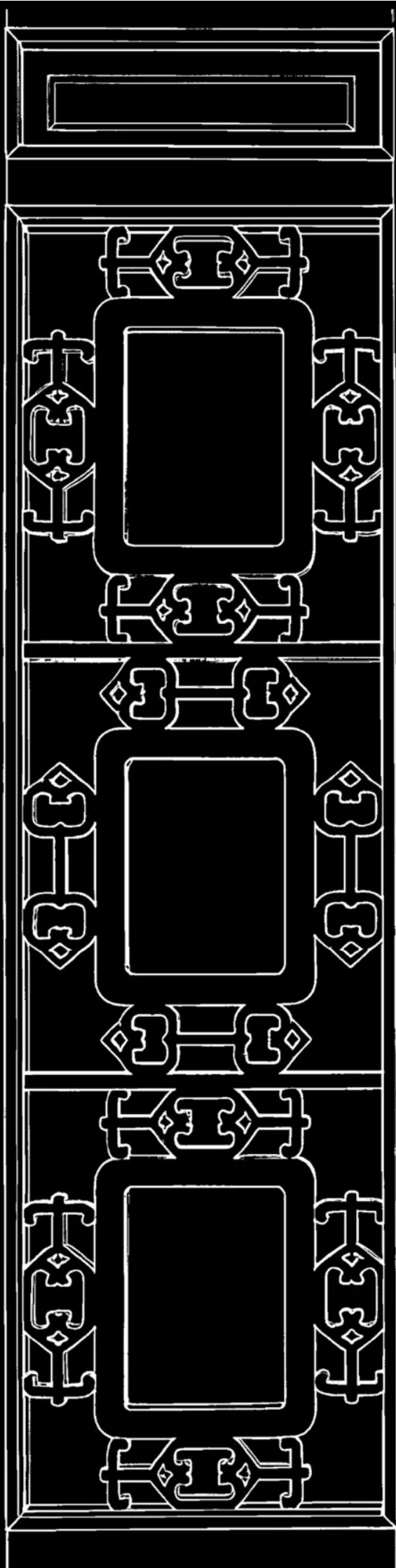
になります

蘭

さないのは



終身不二心 終身不二心 此世唯一志
婦道堪為 箕帚親供侍
金屋阿嬌 卿卿須貯
感殷勤 不弄嫌 為快婿



愛さないのは
罪になります！

ハッキリ
させようと
思います

今日は
俺と隆の
夫婦生活に
ついて…

…ハイ

こんな高級旅館に
はるばる来て…？

急に重い展開きた……

いま……？









なにも…

言っ
てく
れな
いの
……?

……

感動
してて…

…いや

え?

……どうして

だって
そんな
事で
泣い
ちゃ
って…

そんな
こと?

……





ハハ！
いい奴に
なるのって
難しいな



放置プレイ
しても良いって？

それはだめ



も
もっと...

いじめても
いいんだよ



ん...
さみしいのは
やだ.....



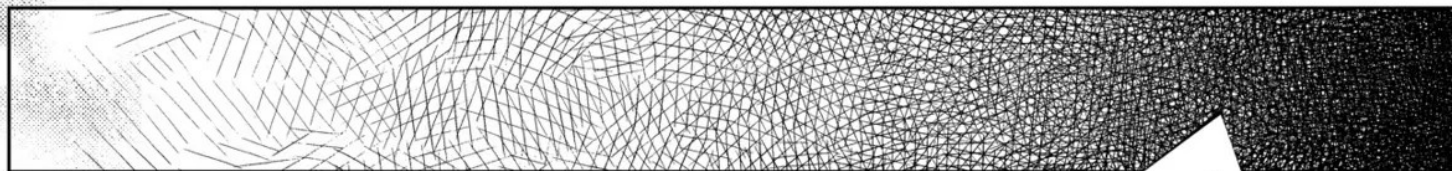












花燭夜から
三日三晩を
青廬で過ごす



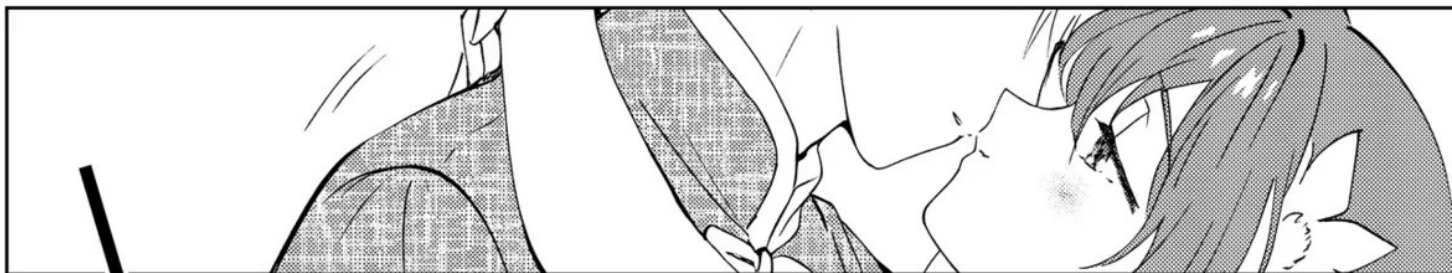
生涯二心を抱かず
この世で唯一の
志をつらぬきます

月の光と灯の光が
盟誓の心を
証し立てましょう

もし背けば
身を砕く覚悟

天よ見て

お取り成し
ください









ずっと…永遠に……

こっぴど

愛しあう
んだから……♡

愛さないのは罪になります
2025年12月31日 初版発行

発行所
落童
【URL】<http://rakdo.web.fc2.com/>

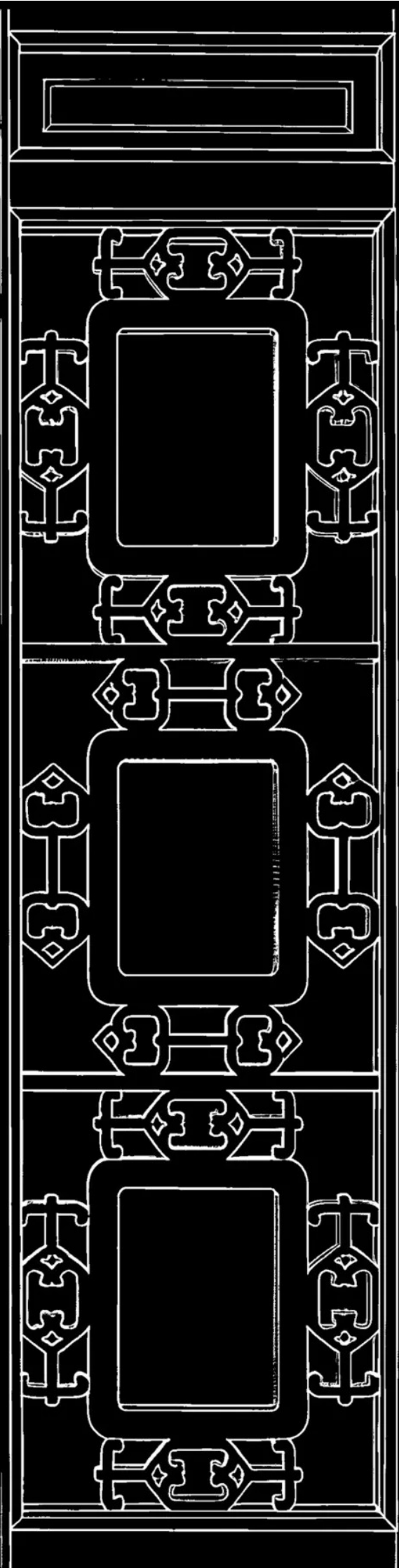


発行者
AQUI
【pixiv】76874
【twitter】@A8UI



印刷
ラック出版

君須辦志誠 君須辦志誠 妾肯忘盟誓
玉樹蒹葭 祇愁變易還輕奔
月色燈光 證盟心意
日負恩 當碎尸 天鑒取



蠟炬成灰
淚

春蚕到死
絲

始干

方尽



恋人と
よむ
漢詩



今作はたっぷり
中華モードということ♡
ヒロとよむ♡漢詩集まで出ます！
本国上海ガールの紹介もあり
夕介！本格派！！
ニギで君も差をつけろ！！
(ドコに...?)

作中に表現引用？ さらた
詩など、たくさんの文化
お楽しみください！
ニギがアツタ-万博だ...!

AQUI

2025

みらいはここにー!

ヒロ♡
恋人とよむ
漢詩集



相見時難別亦難
東風無力百花殘
春蚕到死絲方盡
蜡炬成灰泪始干
曉鏡但愁雲鬢改
夜吟應覺月光寒
蓬山此去無多路
青鳥殷勤為探看



和4ケの詩です



あなたにお会いすることは難しく、いざお別れするのもまた辛いことです。
春を運ぶ東風にもはや力がなく、咲き誇っていた百花も散り果ててしまします。
春の蚕は死ぬまで糸を吐き続けるように、
蠟燭は灰になるまでその涙(溶けた蠟)を流し続けるのです。

(私のあなたへの想いも、死が訪れるその時まで尽きることはありません)
明け方、鏡を見れば、ただ憂うのは、雲のような美しい髪(びん)の髪に白髪が混じるのではと。
夜、詩を吟じながらあなたも、この月の光の冷たさを感じていらっしやることでしょう。
(あなたのいる仙境・蓬山へは、ここから遠くないのですが、)
伝令の青鳥よ、どうか親しく様子を見に行っておやりください



井底点灯深燭伊
共郎長行莫囿棋
玲瓏骰子安紅豆
入骨相思知不知

井戸の底で灯りを灯せば、深くまで照らし出せる。
それと同じように、私は心の底からあなたのことを思っている。
あなたと一緒に「長行」をしたいのであって、「囲棋」はしたくない。
精巧な骰子(さいころ)の目の窪みに、赤い豆(□豆)をはめ込む。
その豆は骨(骰子の材質)の深くまで食い込んでいる。
この「骨の髄までしみわたるような切ない恋しさ」を
あなたは分かっていてくれますか？



玲瓏骰子安紅豆

「深燭伊」:「深く伊(彼)を照らす」と同時に、
「深く誓う」という意味にも掛かっています。
「長行」は「長く行く(永遠に一緒にいたい)」、
「囲棋」は「違う(期||約束)」という意味にも掛けられて
います。つまり、「あなたと永遠に一緒にいたいので、
約束を違えるようなことはしたくない」という
強い意志を表しています。
「骰子(さいころ)」: 骰子は骨でできています。
そこに赤い豆を嵌め込む行為は、
まさに「骨(こつ)まで刻み込まれた想い」||「入骨相思」を
目に見える形で表現しています。
「紅豆」: 中国では、赤い豆(紅豆、こうず)は
古来より相思相愛・恋心を象徴するものです



相思似海深
旧事如天遠
泪滴千千万万行
更使人、愁腸斷
要見無因見
了拚終難拚
若是前生未有緣
待重結、來生願



あなたを想う気持ちは、海のように深く果てしがない。
けれど、二人で過ごした過去の楽しい日々は、天のように遠く隔たってしまった。
涙は千行も万行も流れ落ちる。それがさらに
わたしの悲しみに満ちたはらわたを、断ち切らんばかりにする。
あなたに会いたくても、会うすがどこにもない。
思い切ってあきらめようとしても、どうしても完全に諦めきることができない。
もしそうならば、これは私たちの前世に結ぶ縁がなかったからなのだろうか。
それならば、来生で再び結ばれることを願って待ち続けよう。



臨別殷勤重寄詞
詞中有誓兩心知
七月七日長生殿
夜半無人私語時
在天願作比翼鳥
在地願為連理枝
天長地久有時盡
此恨綿綿無絕期

別れに際し、心からの詩を託した。

その言葉の中には、二人の心だけが知る誓いがあった。

七月七日の長生殿で、

夜半、人気（ひとけ）がない時に囁きあった言葉――

「天にあっては願わくは比翼の鳥となり、

地にあっては願わくは連理の枝とならん」

天が長く地が久しいも、いつかは尽きることがある。

しかしこの恨み（愛）は、綿々として絶える時がない。

「恨」は「うらみ」だけでなく
「果たせなかった無念さ」
深い後悔と悲嘆」を
意味します。

最近読んだ
小説にも
引用が
あつた漢詞…
大將軍様の
かなれ如き…



織雲弄巧

飛星傳恨

銀漢迢迢暗度

金風玉露一相逢

便勝卻人間無數

柔情似水

佳期如夢

忍顧鵲橋歸路

兩情若是久長時

又豈在朝朝暮暮



細やかに変化する雲は巧みな織女の技を見せ、流星は二人の切ない思いを運ぶ。

天の川をはるばると暗闇の中を渡って行く。

秋風と白露の清らかな季節に一度巡り会っただけで、それは地上の数限りない逢瀬よりも勝るものだ。

二人の情けは水のように優しく深いが、

待ちに待った逢瀬はまるで夢のように儚い。

どうして鵲の橋を引き返す帰り道など振り返れようか。

もしも二人の愛情が本当に永遠に変わらないものであるならば、朝も晩も一緒にいられたっていいのではないか。

S



永夜拋人何處去
絕來音
香閣掩
眉斂
月將沈
爭忍不相尋
怨孤衾
換我心
為你心
始知相憶深

長い夜人をほうって何処へ去ったのか
音信が絶えて
香り立つ閨は閉ざされ
眉をひそめて
月も沈もうとしている
どうして尋ね求めずにいられようか
独りの寢床を怨めしく思う
私の心と
あなたの心を取り替えてみて初めて
私の想いの深さを知るでしょう。



我住長江頭
君住長江尾
日日思君不見君
共飲長江水
此水幾時休
此恨何時已
只願君心似我心
定不負相思意

❀❀❀
私は長江の源流に住み
君は長江の河口に住む
日々君を想うも君には会えず
ただ共に長江の水を飲んで
この流れのいつ休むことがあるか
(それと同じで)この思いの果てることもない
ただ願わくは君の心が我が心のようにありますように
きっと相思の思いを裏切らないと



この2人は
もう回
りきれない
恋のままで
（ヒロの留守）

蒹葭采采 所謂伊人 白露未已
溯洄從之 道阻且右 在水之涘
宛在水中沚

蒹葭萋萋 所謂伊人 白露未晞
溯洄從之 道阻且躋 在水之湄
宛在水中坻

蒹葭蒼蒼 所謂伊人 白露為霜
溯洄從之 道阻且長 在水一方
宛在中央

第一章

葦の穂が青々と茂り、白い露が霜と化している。

私の思うあの人は、川の向こう岸にいる。

流れに逆らって行こうとすれば、道は険しくて遠い。

流れに沿って行こうとすれば、(あの人は)まるで水の中ほどにいるようだ。

第二章

葦の穂が生い茂り、白い露がまだ乾かない。

私の思うあの人は、川のほとりにいる。

流れに逆らって行こうとすれば、道は険しくて登り坂だ。

流れに沿って行こうとすれば、(あの人は)まるで水の中の洲にいるようだ。

第三章

葦の穂がまばらに、白い露がまだ止まない。

私の思うあの人は、川の畔にいる。

流れに逆らって行こうとすれば、道は険しくて曲がりくねっている。

流れに沿って行こうとすれば、(あの人は)まるで水の中の小島にいるようだ。

オセの4ヨイス
から!

恋の詩 とも とれるし

人生 そのその... 道...

みえいな とらえ方もできると... ☺ ナルホド

【媚衰】

終身不二心
終身不二心
此世唯一志
婦道堪為
箕帚親供侍
金屋阿嬌
卿卿須貯
感殷勤
不弃嫌
為快婿



【媚衰】（花嫁）

生涯、心を二つにいたしません。
生涯、心を二つにいたしません。
この世で抱く志はただ一つ。

女の道を守り、

箕やほうきを手に、親しくあなたに仕えましょう。

金屋に迎えられた阿嬌のように、

どうか——あなたも私をいつくしんでください。

あなたの厚い情けに感じ入り、

愚痴も恨みも申しません。

よき婿君のため、すべて励みましょう。



西洋風の「エディンガ」（前作）
東洋風の「エディンガ」（今作）
全部やっていくヒロの気合を感じます！

【前腔】

君須辦志誠
君須辦志誠
妾肯忘盟誓
玉樹兼葭
祇愁變易還輕奔
月色燈光
證盟心意
日負恩
當碎尸
天鑒取

【前腔】（それに応える新郎）

あなたこそ誠の心をお持ちくだされ。
あなたこそ誠の心を決めてくだされ。
妾（わたし）がこの誓いを忘れようはずがありましたでしょうか？

玉のごとく麗しく、葭（よし）のようにしなやかなあなた——
その心が移ろい、軽々しく駆け出してしまわぬかと、
それだけが気がかりなのです。

月の光と灯火が、
この誓いの心を証してくれましょう。

もしも恩を裏切れば、
身を碎かれても悔いはなし。
天よ、どうか我らの誓いを鑑みとれ。



本国文系卒の才女にも「知らん、見たことない」と言われたしアものぞす！
「ウチの娘さ」!!! (ドコで...?)

上邪
我欲與君相知
長命無絕衰
山無陵
江水為竭
冬雷震震
夏雨雪
天地合
乃敢與君絕

天(神様)よ！

私はあなたと愛し合い、

この情熱が決して絶えることがないことを願っています。

山々の峰がなくなり、

黄河や揚子江の水が枯れ果て、

真冬に雷が轟き、

真夏に雪が降り、

天と地がぴったりと一つに合わさるその時まで——

その時になって初めて、あなたとの縁を断つでしょう。

ヒロじゃない
ヒロインの子に
あてはめてよんでいます
いつか描くぞ〜！



城闕輔三秦
風煙望五津
與君離別意
同是宦遊人
海內存知己
天涯若比鄰
無為在歧路
兒女共沾巾

帝都の城楼は三秦の地を守り、ここから遙か遠く、霞む五津の港を望む。
君と別れを惜しむこの気持ち、ともに官途を転々とする旅人同士だからこそだ。
この世の中に心の通う友がいるならば、たとえ天涯（世界の果て）に離れていても、
まるで隣り合っているのと同じである。
どうかこの分かれ道で、未練がましく男女のように涙で袖を濡らすことはするな。





本書の日本語訳は、
深度求索による翻訳を基に
発行者が校訂・編集したものです。
原詩はおおよそ千年以上前の
パブリックドメインの著作物です。

恋人とよむ漢詩

2025年12月31日 初版発行

発行所

落童

【URL】<http://rakdo.web.fc2.com/>

発行者

AQUI

【pixiv】76874

【twitter】@A8UI



FAN
BOX





蠟炬成灰
淚始干

春蚕到死
絲方尽

